
環 境 整 備

Ⅲ－１ 処理室の環境整備

1. 安全・安心を届けるために

「敷地の雑草が繁茂し、見た目にも不衛生な食堂の料理、おいしく食べられますか？」
 答えは、「NO」でしょう。

多発する食品の事件・事故・偽装により、「食の安全・安心」という言葉が聞かれるようになりました。

安全・安心とは、どう言うことなのでしょう？

	言葉の意味 (反対語)	生乳生産現場におきかえると
安全とは	危険や損害を受ける恐れのないこと (危険)	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生物質の混入がない。 ・生菌数が基準をクリアしている。 ・健康な牛から搾られている (適正な体細胞数)
安心とは	悪い事が起こらないかという気がかりがなく、心が落ち着いていること (不安)	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の環境整備が行き届いている ・牛が汚れていない ・嫌な臭いがしない (糞尿・動物・サイレージ)

『安全』は検査結果などのデータから証明できます。一方『安心』は五感で感じた印象、イメージといった感覚的なものです。

環境整備を行い、美しくさわやかな牧場風景を消費者に提供することが、『安心』への道となります。

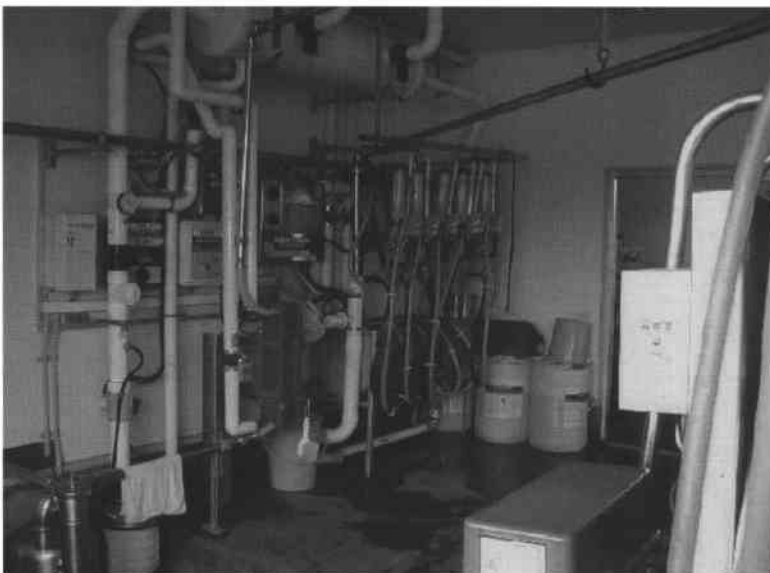
酪農は生乳という生鮮食品を扱う食品生産業です。良質乳の生産はもとより、生産現場は見た目にもキレイな環境でなければなりません。

ここでは、特に処理室の環境整備について考えてみましょう。

2. 処理室の目的と役割

処理室は「生鮮食品である生乳を冷却保管する」「搾乳機器を洗浄保管する」農場内で最も衛生的であるべき場所です。

また、処理室をきれいに保つ事で、一日を爽快な気持ちで迎えることができるでしょう。

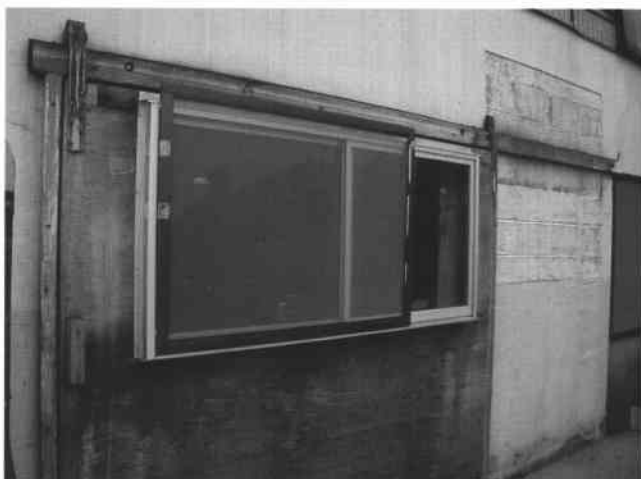


処理室は衛生的で整理整頓しましょう



ごちゃごちゃ
はだめ

- ①牛舎と処理室が仕切られている。
- ②給湯設備が完備している。
- ③天井や壁の色は清潔感があり明るい
- ④事務室・更衣室代わりに使っていない
- ⑤網戸などで昆虫の侵入を防いでいる。
- ⑥排水がスムーズで床は乾燥している。
- ⑦犬・猫の侵入を防いでいる。
- ⑧出入口には消毒槽が設置されている。
- ⑨機器類周辺に油やほこり等のこびりつきがない。
- ⑩バルククーラーの排熱方向が適正である。



○ 網を設置し通気性を確保すると共に、動物や鳥の侵入を防いでいます。



○ バイオセキュリティはしっかり



✕ 処理室にえさ箱がある意味は……
食品保管現場への動物の侵入は不衛生です。



✕ 床の凸凹や排水の不良は、
悪臭発生しやすくなります。

3. 処理室環境整備事例 安全が届けられる処理室を

消毒槽の設置事例

～2段構えの消毒槽でばっちり～



洗い用と消毒用の2つの槽を使うことで、消毒槽の消毒効果の持続が期待されます。
(消毒液は毎日取り替えしよう)



家畜防疫に対する意識が高まります。

ステンレスの水垢除去事例 ～ピカピカなバルククーラーで安心をアピール～

毎日きれいにしているつもりでも、ついてしまうステンレスの水垢。専用洗剤を使用してバルクやレシーバー等をきれいにしました。

【使い方】バルク表面をアルカリ洗剤で洗浄し、よく乾燥した後、水垢汚れ専用洗剤を数分程度なじませてから水で洗い流す。

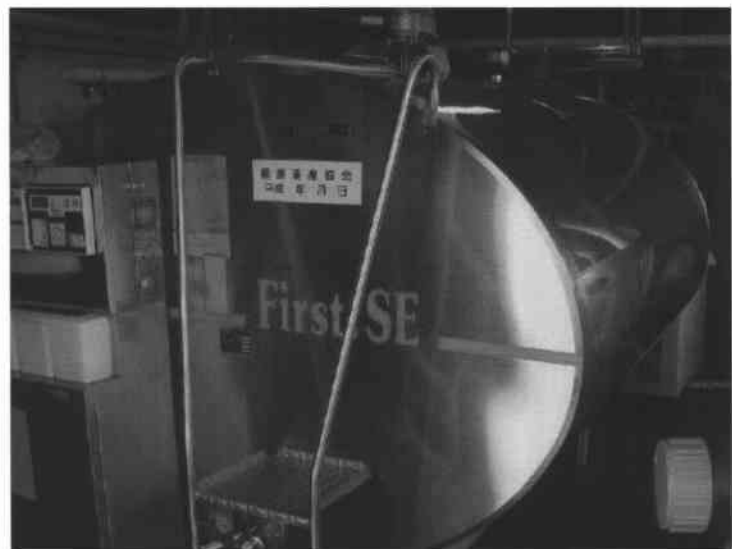
注意：ステンレス専用。食品に触れる場所は使用禁止。アルカリ洗剤との混合は禁止。

【費用】水垢汚れ専用洗剤 5,800円(4kg入り)
(汚れの程度によりますが、容量3,000ℓのバルクに約1kg使います。)

ステンレス製の
レシーバーもキレイに



洗浄後 ← → 洗浄前



輝いたバルクは美味しい牛乳を連想させます。

♣ ペンキ塗布事例 ～白い壁で明るい処理室～



改善前



改善後

(以前塗ったペンキが剥がれています)

壁を白くペンキで塗るだけで、清潔感ある処理室となります。特に蛍光灯をつけた時には光が反射して、大変明るくなったとのことでした。

【費用】約1万円

水性ペンキ（7割）4,600円

※その他

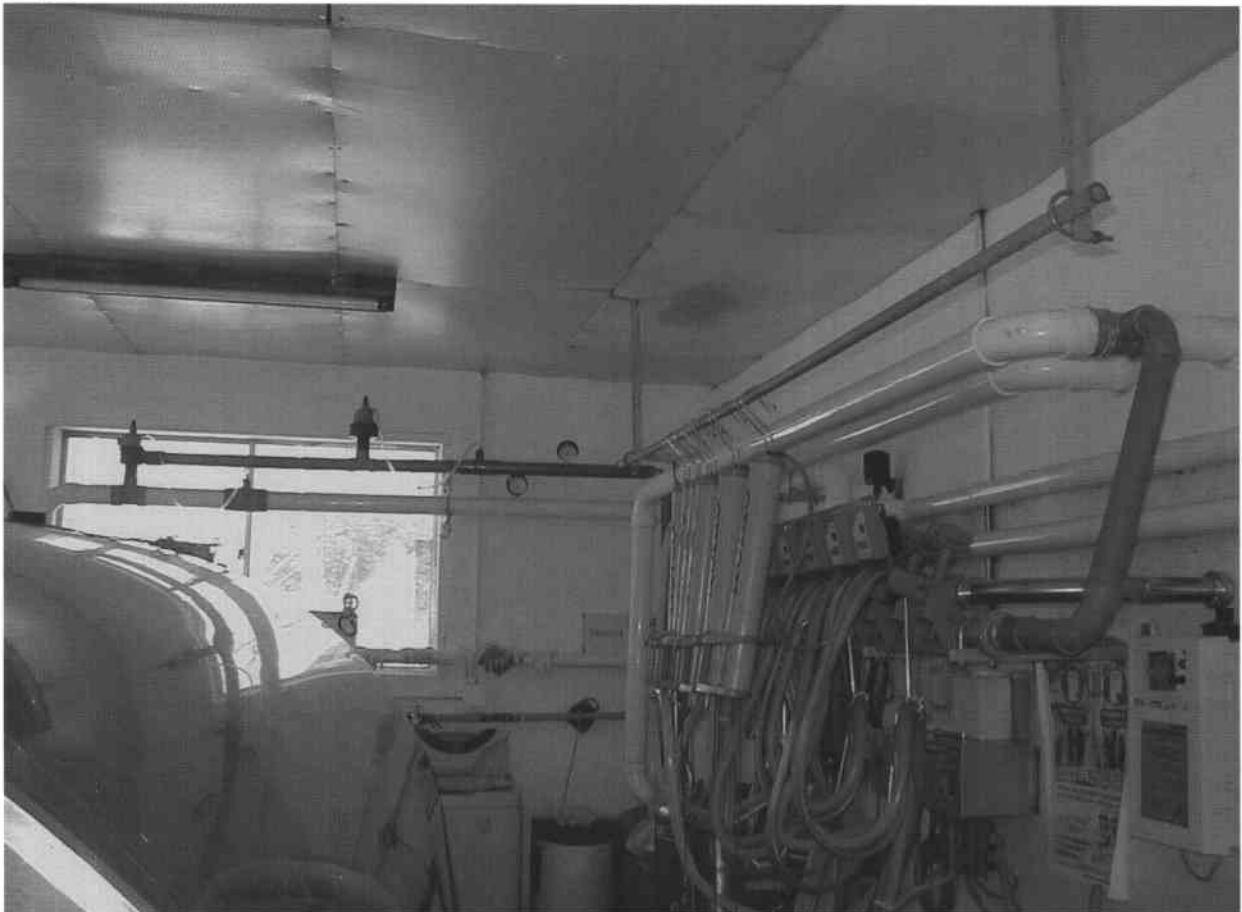
ペンキを塗るためのスポンジローラー、刷毛やペンキを入れるバット（各5個入り）

※ペンキ以外は数件共同で使用可能

(JA西春別女性部の取り組みより)

【ペンキ塗りを実施した方の反応】

- 処理室がきれいでも明るくなった
- 思ったより簡単にできた
- 不用な物を片付けることができた
- 実施後の家族の反応が良かった



ペンキを塗るとこんなに明るく！ 天井はホワイトパネルを張り改善。(自家施工)

※ホワイトパネルについては次頁で解説します。

☘ ホワイトパネル活用事例 ～アイデア活かした環境改善～

①天井のリフォーム

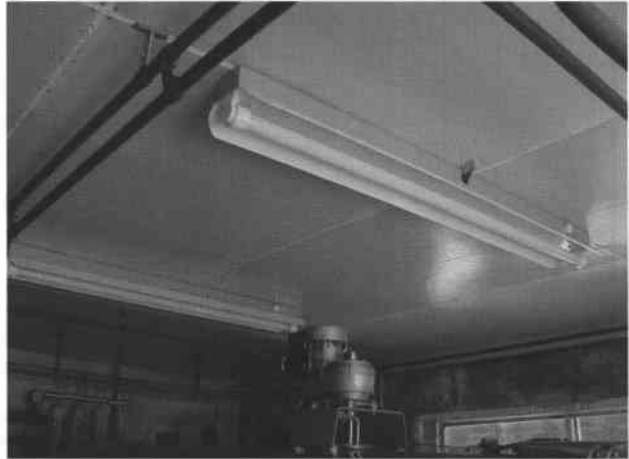
- 天井にホワイトパネルを貼った
- 蛍光灯増設（1本→2本）
- 蛍光灯のカサを新しくした。
- 水配管を銅製に変えた。

【費用】 約21万円（業者の工賃など）

※ホワイトパネルは、JAからの助成。

全て、業者による施工。

パネル間の隙間はシリコンコーキングで埋めた。



②処理室と牛舎の仕切扉

処理室の役割上、牛舎と処理室は遮断される必要があります。

ホワイトパネルを使用し、手作り扉を設置した事例です。

【費用】 1,000円以下

（タル木・ビス・蝶番など）

※ホワイトパネルは、JAからの助成。

効果

- ①処理室へ猫が侵入しなくなった
- ②牛舎の臭いが処理室に入らなくなった。
- ③搾乳中、静かになった。（処理室の音が牛舎に響かない。）
- ④ホワイトパネルが半透明なので明るさが保たれている。



ホワイトパネルとは、

肥料運搬・保管の際に、肥料の下敷として使われる防水パネルです。

とても軽く、カッター等で容易にカットができ、加工が簡単にできます。

【価格】

畳(たたみ)一枚の大きさで、約1,000円/枚です。

このページで紹介したのは、

2事例ともJA西春別の事例です。

4. 安全が守られ、証明できる処理室環境を

最近よく耳にするようになった、『トレーサビリティ』や『HACCP (ハサップ)』という言葉。これが生乳生産現場でも、問われる時代になっています。

🍀 生産履歴を残す



我が家の生乳が安全であることを、生産者が自信を持って消費者へ伝えるためには、必要な管理を行うことと、記録して証拠を残しておくことが大切です。

- 乳牛の治療記録
- バルク乳温管理と記録
- ミルカーやバルクの機械点検表
- 搾乳機器の部品の交換記録 など

記録する事は、目的を意識した仕事を可能とし、「うっかりミス」の予防につながります。

🍀 酸洗浄日を記入している事例



◆ トレーサビリティ

生産履歴

◆ ハサップ

危害分析・重要管理点方式。
食品の安全性・健全性・品質を確保するための科学的な管理手法。

🍀 薬品の保管 (薬品庫の整備)

🍀 洗浄行程を記入する

行 程 【 事 務 】	ハイブラインミルカー		バルクワーカー	
	日	日	日	日
洗浄機消毒	① 消毒薬名: ② 消毒時間: ③	④ 消毒薬名: ⑤ 消毒時間: ⑥	⑦ 消毒薬名: ⑧ 消毒時間: ⑨	⑩ 消毒薬名: ⑪ 消毒時間: ⑫
アルカリ洗剤	⑬ 消毒薬名: ⑭ 消毒時間: ⑮	⑯ 消毒薬名: ⑰ 消毒時間: ⑱	⑲ 消毒薬名: ⑳ 消毒時間: ㉑	㉒ 消毒薬名: ㉓ 消毒時間: ㉔
酸洗剤	⑳ 消毒薬名: ㉑ 消毒時間: ㉒	㉓ 消毒薬名: ㉔ 消毒時間: ㉕	㉖ 消毒薬名: ㉗ 消毒時間: ㉘	㉙ 消毒薬名: ㉚ 消毒時間: ㉛
消毒機	㉜ 消毒薬名: ㉝ 消毒時間: ㉞	㉟ 消毒薬名: ㊱ 消毒時間: ㊲	㊳ 消毒薬名: ㊴ 消毒時間: ㊵	㊶ 消毒薬名: ㊷ 消毒時間: ㊸
シリコン膜	㊹ 消毒薬名: ㊺ 消毒時間: ㊻	㊼ 消毒薬名: ㊽ 消毒時間: ㊾	㊿ 消毒薬名: ㊿ 消毒時間: ㊿	㊿ 消毒薬名: ㊿ 消毒時間: ㊿
メモ				



5. 効率よく働くことのできる処理室環境を

思い当たりませんか？

床に、ボイラーに、冷凍機に、…… ついつい物を置いてしまう。

処理室で作業をする時『邪魔になる！』なんてこと。

働きやすい処理室にするためには、整理整頓することが大切です。

🍀 棚を利用した整理整頓事例



棚を利用すると、

- 見た目がすっきりきれい
- 必要な物がどこにあるかひと目でわかる。
- 作業の邪魔にならない



働きやすい!!



🍀 処理室周辺環境整備も大切



処理室内のみならず、周辺環境を整備することで、快適かつ機能的な労働につながります。

もちろん周辺環境整備は、「安全・安心・美味しい牛乳」の最も、有効な宣伝となります。

◀ 処理室前の花がお出迎え。
構内舗装により、泥濘化やホコリを解消しています。

きれいな環境で安全・安心・おいしい牛乳をアピール